

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：株式会社 萩・森倫館

活動地域：山口県萩市

活動におけるテーマ・キャッチコピー
「森と、まちと、人をつなげる」

活動団体紹介

■山口県萩市とは

萩市は山口県北部に位置し、北は日本海に面し、市の南部・東部は中国山地の山々や丘陵地が大半を占め、平野は河口部など一部で、豊かな地形と自然環境に恵まれた地域である。

また、中心市街地は阿武川河口部の三角州に建設された萩藩の城下町であり、松下村塾や藩校明倫館などの全国に誇る学び舎があり、歴史・文化のまちとして年間約240万人の観光客が訪れている観光都市である。

市域の約8割を森林が占めており、地域林業の担い手たる林業事業体は阿武萩森林組合1者である。素材生産量の減少や木材・木製品の事業所の減少などは衰退傾向にあり、既存の市内林業事業体では木材の生産量の増加及び担い手の確保・育成が困難であることから、持続的な森林資源の利活用ができていない状況にある。

また、40~50年前に発生した松枯れ後の林地に植林されたヒノキが今後伐期を迎え、枝打ちなど丁寧な管理がされてきた資源の利活用方法も課題となっている。

■活動団体 株式会社 萩・森倫館とは

かつて木材とともに森林から得られる竹や薪、炭などを利用した地場産業や生活に根ざした森林資源利用がなされていた集積地の再生を発端に設立された会社である。市と連携し、萩・森倫館が中心となって、市内に大きく広がる森林資源の循環利用を中心に、林業の再生と雇用創出の「もりづくり事業」、教育機関とも連携し地域資源を活用する人材を生み出す「ひとづくり事業」、森林資源を中心とした地域資源の利活用の継承と普及促進をおこなう「まちづくり事業」を行う。それらの事業を有機的につなげることによって、地域に根付く歴史・文化との関連付けや藩政時代から続く人材育成の地としての特色を生かした地域を目指す。

(参考：株式会社 萩・森倫館WEBサイト | <https://hagi-shinrinkan.jp/>)

ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

もり・ひと・まちの緩やかで有機的なつながり・重なり風土・文化・伝統・技術の継承、循環していく地域

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・ 持続的な森林資源の利活用ができていない状況を改善するには、市内の森林組合・製材所と連携し、今後伐期を迎えるヒノキを、建築材等として利活用する流れをつくっていくことが必要
- ・ 若年世代の市外への流出や林業分野をはじめ就業希望者不足、森林資源の多様な利活用の縮小と人材減少傾向にあることから、地域資源を活用する人材（担い手）及び地域が有する森林資源の利活用方法の継承と普及の場づくりによる、資源の多様な利用の推進が必要

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

- ・ 地域産木材（主にヒノキ）を中心とした森林資源
- ・ 藩政時代から続く人材育成の地としての特色
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする歴史的な建築物・街並み

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

- ①地域産材利用促進事業（ヒノキ材を中心とした商品開発と事業者連携）
- ②人材育成事業（講座・勉強会の企画・運営）
- ③森林資源利活用普及啓発事業（イベント等での木材を利用した暮らしの情報発信）

成果（取組によって出したい成果）

- ・ 川上から川下までの連携基盤が整い、地域に適正化された森林資源の循環の推進
- ・ 地域内外連携による人材育成の場の創出による、技術・経験が地域に蓄積、担い手発掘
- ・ 地域材の利用の普及啓発による、住宅や暮らしの中での木材利用の促進

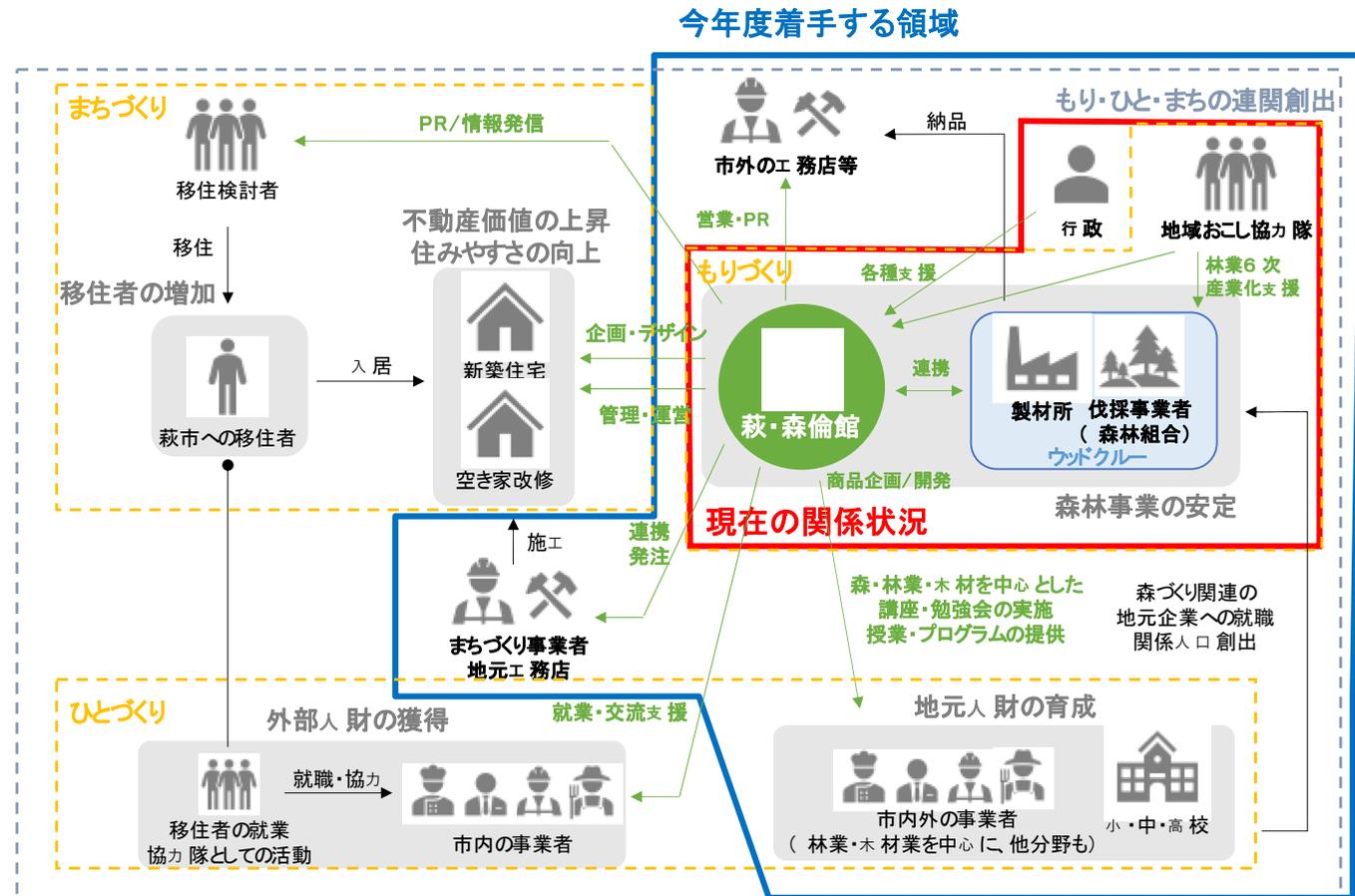
ありたい地域の未来を実現するために何をするか



目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制

平成30年度～令和2年度にかけて、林業6次産業化を推進するメンバーを構成員として検討委員会を実施しており、地域のネットワークが生まれつつある。特に、森林組合と製材所からなる合同会社ウッドクルーとの連携体制が整いつつある。
(赤枠)



環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

もり、ひと、まちの連関創出を将来像として、今年度は、森林資源を中心とした地域資源の循環利用を推進する連携体制の構築（工務店、建設会社、デザイナー、製作所を中心とした地域事業者との地域材利用ネットワーク）、地域の林業・木材業だけでなく他分野・他地域を含む人材育成の場の創出を目指す **(青枠)**

年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域産材利用推進事業	地域材利用案件の調査			製品企画・試作・提供								
	地域内循環構築に向けた事業者調整・意見交換会等の実施											
(2) 人材育成事業	講座・勉強会の企画			講座・勉強会の開催								
(3) 森林資源利活用普及啓発事業	森林資源利活用普及啓発の企画			森林資源利活用普及啓発の設計			森林資源利活用普及啓発の製作					
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業関連	ヒアリング	経費負担協定締結		情報交換会		現地意見交換会		中間報告提出	中間報告会		成果報告提出	成果報告会

※上記スケジュールは、事業の進捗、社会状況（コロナ等）に応じて変更される可能性があります。